

**令和7年度インターネットアンケート調査結果**  
**調査テーマ【札幌市における犯罪のない安全で安心なまちづくり**  
**について】**

■ 調査期間 : 令和7年(2025年)7月3日(木曜日)～7月8日(火曜日)  
 ■ 調査方法 : インターネット(クローズ型)  
 ■ 設問数 : 全35問  
 ■ 調査対象者 : 15歳以上の札幌市民 500人(男性:250人 女性:250人)  
 年齢別内訳 29歳以下:50人 30代:100人 40代:100人

防犯意識についてお聞きします。

Q1. あなたは、札幌市が、「犯罪の被害に遭わずに安全に安心して暮らせるまち」だと思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 そう思う	36	7.2
2 どちらかといえばそう思う	198	39.6
3 どちらとも言えない	169	33.8
4 あまりそう思わない	75	15.0
5 そう思わない	22	4.4
全体	500	100.0

《Q1で「あまりそう思わない」、「そう思わない」と回答した方にお聞きします。》

Q2. あなたが「犯罪の被害に遭わずに安全に安心して暮らせるまち」ではないと思った理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 札幌市内の犯罪が増えていると感じているから	59	31.4
2 自分や自分の身近で犯罪被害があったから	8	4.3
3 ニュース等の報道で、札幌市内で発生した犯罪を頻繁に見	53	28.2
4 町内会の回覧板や警察からの警報メールなど、地域で発生	14	7.4
5 地域のつながりが希薄で周りに無関心となっており、安心	15	8.0
6 暗い住宅街など、安心できる環境ではないから	20	10.6
7 特に明確な理由は無いが、犯罪に遭う不安を感じているか	17	9.0
8 その他	2	1.1
全体	188	100

Q3. あなたは、自ら犯罪に遭わないよう、出かけるときには短時間でも施錠したり、明るい道を歩くなど、常に防犯意識をもって暮らしていますか。		
	回答数 (n)	割合 (%)
1 常に意識をしている	162	32.4
2 どちらかといえば意識をしている	234	46.8
3 どちらかといえば意識をしていない	69	13.8
4 意識をしていない	35	7.0
全体	500	100

Q4. あなたは、どのような防犯対策をしていますか。あてはまるものをすべてお選びください。		
	回答数 (n)	割合 (%)
1 自宅にセンサーライトや補助錠を設置している	81	4.8
2 外出や就寝の際などには窓を必ず閉める	218	13.0
3 防犯ブザーを携行している	19	1.1
4 人気のない道や暗い日等を避けて歩く	243	14.5
5 自転車やオートバイなどに二つ以上の鍵を付けている	77	4.6
6 自転車やオートバイの防犯登録を行っている	104	6.2
7 自動車に防犯機器等を設置している	46	2.7
8 自動車内に手荷物を置かない	155	9.2
9 個人情報が含まれるごみを出さない	222	13.2
10 表札には姓のみを表示し、家族構成がわからないようにし	143	8.5
11 郵便受けに鍵を付ける	100	6.0
12 カードの暗証番号やパソコン等のパスワードを定期的に変	73	4.3
13 ナンバーディスプレイや留守番電話機能が付いた電話機を	107	6.4
14 その他	4	0.2
15 特に何もしていない	88	5.2
全体	1680	100

Q5. あなたは、地域で行う防犯活動を行っていますか。 (「防犯活動」とは、具体的な行動(防犯やパトロール)だけではなく、日常生活の中で防犯の意識を持って行動していることも含みます。なお、日常生活とは、犬の散歩や通勤・通学・買い物などの行動をいいます。)		
	回答数 (n)	割合 (%)
1 行っている	74	14.8
2 行っていない	426	85.2
全体	500	100

《Q5で「行っている」と回答した方にお聞きします。》

Q6. 次のうち、あなたは、地域で行うどのような防犯活動に参加していますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 徒歩や自転車による防犯パトロール	21	15.4
2 犬の散歩に合わせたパトロール（わんわんパトロールなど）	17	12.5
3 ウォーキング・ランニングに合わせたパトロール	21	15.4
4 青色回転灯を装備した車両によるパトロール	9	6.6
5 見守り活動ステッカーなどを貼った車両によるパトロール	11	8.1
6 子ども110番の家や店による防犯活動	7	5.1
7 通学路などでの子どもの見守りや声かけ活動	10	7.4
8 暗がりや死角の多い地域の危険な場所を点検する活動	6	4.4
9 違法広告物の撤去や落書きの消去など、環境を整備する活動	2	1.5
10 防犯に関する情報を地域住民に周知・啓発する活動	9	6.6
11 上記のような具体的な活動はしていないが、日常生活の中	22	16.2
12 その他	1	0.7
全体	136	100

Q7. あなたは、地域で行う防犯活動に興味がありますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 興味がある	192	38.4
2 興味がない	308	61.6
全体	500	100

Q8. あなたは、どのような条件が整えば、地域で行う防犯活動に参加しやすくなると思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 好きな時間や参加頻度を選べる	188	14.7
2 休日だけでよい	42	3.3
3 参加の仕方がわかりやすい	160	12.5
4 活動に警察や札幌市の協力が得られる	94	7.3
5 地域で自分の希望する活動ができる	69	5.4
6 知り合い同士で参加できる	52	4.1
7 事前に講習会等が開かれる	53	4.1
8 危険な目に遭うことがない	92	7.2
9 お金がかからない	144	11.3
10 有償である	57	4.5
11 未経験・初参加でも参加しやすい	146	11.4

12 勤務中でも企業の理解があり参加できる	29	2.3
13 介護・保育など一時預かりができる	15	1.2
14 その他	3	0.2
15 参加しやすくなる条件はない	135	10.6
全体	1279	100

Q9. あなたは、個人で気軽に実施できる「ながら防犯」について知っていますか。  
 （「ながら防犯」とは、通勤や通学、買い物など日常活動の中で、防犯の視点を持って地域の見守りを行う活動をいいます。）

	回答数 (n)	割合 (%)
1 知っている	57	11.4
2 知らない	443	88.6
全体	500	100

Q10. 《Q9で「知っている」と回答した方にお聞きします。》  
 あなたは、「ながら防犯」を実施していますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 よく実施している	19	33.3
2 時々、実施している	29	50.9
3 実施していない	9	15.8
全体	57	100

Q11. 《Q10で「よく実施している」「時々実施している」と回答した方にお聞きします。》  
 あなたは、どのような「ながら防犯」を実施していますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数 (n)	割合 (%)
1 犬の散歩時の見守り	15	16.7
2 ウォーキング・ランニング中に見守り	24	26.7
3 通勤・通学・買い物しながらの見守り	26	28.9
4 工作中的見守り	12	13.3
5 庭掃除や洗濯物を干しながらなど自宅に居ながらの見守り	13	14.4
6 その他	0	0.0
全体	90	100

ここからは犯罪被害者等への支援についてお聞きします。

あなたは、犯罪被害者等支援（※）について関心はありますか。  
 Q12.（※「犯罪被害者等支援」とは、犯罪により被害を受けた本人やそのご家族・ご遺族が、安全に安心して暮らすための取組を指します。）

	回答数 (n)	割合 (%)
1 ある	42	8.4
2 どちらかといえばある	181	36.2
3 どちらかといえばない	165	33.0
4 ない	112	22.4
全体	500	100

《Q12で「ある」、「どちらかといえばある」と回答した方にお聞きします。》  
 Q13. あなたが犯罪被害者等支援について関心がある理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数 (n)	割合 (%)
1 犯罪は誰もがいつ遭遇するかわからないから	163	38.8
2 身近に犯罪被害に遭った人がいるから	26	6.2
3 社会的な問題であるから	124	29.5
4 テレビ・新聞等で見聞きをするから	91	21.7
5 SNS (X、Facebook、LINE) で見聞きするから	15	3.6
6 その他	1	0.2
全体	420	100

あなたは、札幌市には、犯罪被害者やそのご家族への支援に関して、その基本理念や具体的な施策等を定めた「札幌市犯罪被害者等支援条例」があることを知っていますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 知っている	50	10.0
2 知らない	450	90.0
全体	500	100

Q15. あなたは犯罪被害者等への支援は必要だと思いますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 思う	175	35.0
2 どちらかといえば思う	234	46.8
3 どちらかといえば思わない	53	10.6
4 思わない	38	7.6
全体	500	100

- 《Q15で「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した方にお聞きします。》
- Q16. 具体的に、どのような支援が必要だと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 犯罪被害者等に対する理解や支援を広げるための広報啓発	160	10.5
2 相談や支援施策に関する情報提供を行う総合的窓口	161	10.6
3 民間支援団体の紹介	93	6.1
4 精神的なケアのための医療提供やカウンセリング	235	15.5
5 裁判などに関する手続きについての法律相談	185	12.2
6 犯罪被害者への給付や医療費の公費負担などの経済的な支援	193	12.7
7 被害直後の一時避難場所の提供や市営住宅優先入居など住居の確保	146	9.6
8 失職や転職したことに対する就労支援	182	12.0
9 警察署・裁判所や医療機関などへの付き添い支援	116	7.6
10 その他	0	0.0
11 わからない	48	3.2
全体	1519	100

- Q17. 犯罪被害者等が犯罪による直接的な被害だけでなく、二次被害（周囲の者の配慮に欠ける言動や誹謗中傷、報道機関による取材・報道等）にも苦しめられていることについて、あなたはどの程度認識していますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 十分認識している	63	12.6
2 ある程度認識している	240	48.0
3 あまり認識していない	143	28.6
4 全く認識していない	54	10.8
全体	500	100

ここからは防犯カメラについてお聞きします。

- Q18. あなたは、あなたが居住する地域の公共の場所（道路、公園などの不特定多数の人が利用する場所）に、防犯カメラを設置して欲しいと思いますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 思う	184	36.8
2 どちらかといえば思う	232	46.4
3 どちらかといえば思わない	53	10.6
4 思わない	31	6.2
全体	500	100

《Q18で「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した方にお聞きします。》  
 Q19. 防犯カメラを設置して欲しいと思った理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 設置してあると、犯罪の抑止に繋がると思うから	325	37.2
2 設置してあると、見守られている気持ちになるから	133	15.2
3 設置してあると、地域の防犯意識が高まると思うから	173	19.8
4 防犯カメラの映像が、犯罪の早期解決に繋がると思うから	240	27.5
5 その他	2	0.2
全体	873	100

ここからは、犯罪をした人の再犯防止や立ち直りについてお聞きします。

Q20. あなたは、これらの再犯防止等に関する用語のうち、その内容を知っているものはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 更生保護	163	15.6
2 保護観察所	180	17.2
3 協力雇用主	88	8.4
4 保護司	210	20.1
5 社会を明るくする運動	37	3.5
6 再犯の防止等の推進に関する法律	48	4.6
7 更生保護施設	172	16.4
8 この中に知っているものはない	148	14.1
全体	1046	100

《Q20で、ひとつでも知っている用語があるとを回答した方にお聞きします。》  
 Q21. あなたは、Q20で回答した用語をどのように知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 テレビ	251	39.2
2 ラジオ	17	2.7
3 町内会などの地域活動	25	3.9
4 職場	22	3.4
5 インターネット (各種ホームページ)	77	12.0
6 SNS (X、Facebook、LINEなど)	36	5.6

7 新聞	91	14.2
8 チラシ・リーフレット・ポスター	26	4.1
9 家族	11	1.7
10 友人・知人	14	2.2
11 講演会・シンポジウム・フォーラム	11	1.7
12 街頭啓発	8	1.2
13 その他	10	1.6
14 覚えていない	42	6.6
全体	641	100

Q22. あなたは、犯罪をした人（※）の立ち直りに協力したことがありますか。  
（※「犯罪をした人」には、非行のある少年を含みます。）

	回答数 (n)	割合 (%)
1 ある	30	6.0
2 ない	470	94.0
全体	500	100

《Q22で「ある」と回答した方にお聞きします。》

Q23. あなたはどのような協力をしたことがありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 犯罪をした人たちに継続的に助言や援助をしたことがある	18	34.0
2 所属する団体で、協力雇用主として、犯罪をした人たちを	12	22.6
3 所属する団体で、犯罪をした人たちの住居の斡旋をしたこと	12	22.6
4 更生保護施設等にお金や品物などを寄付したことがある	3	5.7
5 再犯防止に関するボランティアに参加したことがある	6	11.3
6 その他	2	3.8
全体	53	100

Q24. あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 思う	16	3.2
2 どちらかといえば思う	100	20.0
3 どちらかといえば思わない	196	39.2
4 思わない	188	37.6
全体	500	100

- 《Q24で「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した方にお聞きします。》
- Q25. あなたはどのような協力をしたいと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 犯罪をした人たちに継続的に助言や援助をしたい	42	27.8
2 所属する団体で、協力雇用主として、犯罪をした人たちを	22	14.6
3 所属する団体で、犯罪をした人たちの住居の斡旋をしたい	18	11.9
4 更生保護施設等にお金や品物などを寄付したい	22	14.6
5 再犯防止に関するボランティアに参加したい	36	23.8
6 その他	11	7.3
全体	151	100

- 《Q24で「どちらかといえば思わない」、「思わない」と回答した方にお聞きします。》
- Q26. あなたが立ち直りに協力したくないと思う理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 どのように接すればいいわからない	152	20.9
2 協力の方法がわからない	72	9.9
3 犯罪に巻き込まれそうで怖い	109	15.0
4 犯罪をした人たちに関わりたくない	127	17.4
5 家族に反対される	28	3.8
6 犯罪をした人たちの背景・原因が分からない	72	9.9
7 活動に参加する時間がとれない	36	4.9
8 犯罪をした人たちに支援などをすべきではないから	30	4.1
9 その他	11	1.5
10 考えたことがない	92	12.6
全体	729	100

- Q27. あなたは、犯罪をした人の立ち直りのために、どのような取組が必要だと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 ビジネスマナーや資格・技術の習得など、仕事に就くため	139	12.9
2 住む場所を確保するための支援を行う	147	13.7
3 高齢者や障がい者等に必要な福祉サービスを提供する	78	7.3
4 生活に困窮している者へ、自立に向けた福祉的支援を行う	135	12.6
5 自立を支援するNPO法人や更生保護施設などに支援を行う	123	11.4
6 復学や進学など、学びの継続に向けた支援を行う	71	6.6

7 行政機関や民間団体などの支援ネットワークを作る	59	5.5
8 市民に対し、再犯防止について広報・啓発活動を行う	66	6.1
9 行政機関や民間団体などで雇用を行う	68	6.3
10 その他	5	0.5
11 わからない	105	9.8
12 取組は必要ない	79	7.3
全体	1075	100

ここからはその他の防犯意識についてお聞きします。

Q28. あなたは、札幌市中心部が安全に安心して通行し、又は利用することができる環境だと思いますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 そう思う	38	7.6
2 どちらかといえばそう思う	272	54.4
3 あまりそう思わない	147	29.4
4 そう思わない	43	8.6
全体	500	100

Q29. あなたは、札幌市には、「客引き・勧誘（スカウト）」（※）を禁止する「札幌市客引き行為等の防止に関する条例」があることを知っていますか。（※「客引き・勧誘（スカウト）」とは、通行中の者等の中から相手方を特定し、客となるよう誘ったり、役務に従事するよう勧誘する行為を指します。）

	回答数 (n)	割合 (%)
1 知っている	306	61.2
2 知らない	194	38.8
全体	500	100

Q30. あなたは、直近1年間で、札幌市中心部にて「客引き・勧誘（スカウト）」を受けたり、見たりしたことがありますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 ある	113	22.6
2 ない	387	77.4
全体	500	100

Q31. あなたは、「客引き・勧誘（スカウト）」について、どのような印象をもっていますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 好ましい	8	1.6
2 どちらかという为好ましい	16	3.2
3 どちらかという为好ましくない	69	13.8
4 好ましくない	342	68.4
5 特に何も思わない	65	13.0
全体	500	100

《Q31で「どちらかという为好ましくない」、「好ましくない」と回答した方にお聞きします。》  
 Q32. あなたが、「客引き・勧誘（スカウト）」を好ましくないと感じた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 通行の妨げになるから	181	15.6
2 複数人で待ち構えており、怖いと感じるから	186	16.1
3 声を掛けられることが不快だから	216	18.7
4 客引きや勧誘（スカウト）をする人がいると、安心して通	177	15.3
5 ぼったくりに遭う可能性があるから	234	20.2
6 札幌市の景観やイメージを悪化させるから	157	13.6
7 その他	6	0.5
全体	1157	100

### フェイス項目

Q33. あなたの性別を教えてください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 男性	250	50.0
2 女性	250	50.0
全体	500	100

Q34. あなたの年代を教えてください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 19歳以下	20	4.0
2 20-29歳	30	6.0
3 30-39歳	100	20.0
4 40-49歳	100	20.0

5 50-59歳	100	20.0
6 60-69歳	100	20.0
7 70歳以上	50	10.0
全体	500	100

Q35. あなたの職業を教えてください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 会社員・公務員・団体職員	195	39.0
2 自営業	21	4.2
3 パート・アルバイト	69	13.8
4 専業主婦・主夫	63	12.6
5 学生	20	4.0
6 無職	97	19.4
7 その他	35	7.0
全体	500	100